



## 屋久杉のこころ

酒井 義一

### 千年以上も生き続ける杉

鹿児島県の南に位置する屋久島には、屋久杉という名の杉が自生しています。屋久島に生えている杉はすべて屋久杉なのかというと、そうではなく、樹齢千年以上の杉を屋久杉と呼ぶのだそうです。樹齢が千年に満たない杉は、小杉と言います。たとえ樹齢九八〇年であっても、それは小杉と呼ばれます。千年という時を経た杉だけが、世界遺産・屋久島を象徴する屋久杉となるのです。

### 石を包み込むように

では、屋久島の環境は、杉にとってそれほど豊かなのでしょうか。実はその逆です。

屋久島は火山でできた島なので、岩がゴツゴツしていて、栄養分があまり豊かではありません。

そこに杉が芽生え、やがて根を伸ばします。土を求めてどこまでも根を張ります。邪魔になるような石があれば、その石をどけるのではなくて、石を包み込むように根を張りま

す。自らが倒れないためにです。杉はどんどん高く伸びようとして、しかし、非常に強い台風が通る屋久島では、台風の度に手足もがれるようにして、枝が折れてしまうこともあります。

けれども、そのような環境の中で大地にしっかりと根を張り、石を包み込み、折れた枝はコブにしなが

ら、見事な屋久杉になるわけです。

屋久島にある縄文杉じょうもんすぎという杉は、推定樹齢三千年以上と言われています。高さは何メートルあるかといえば、そんなに高くはありません。三〇メートルです。なぜならば、雷に打たれて上が折れているからです。そして、胴回りが十六メートル

そこには幹がこぶのようにうねりながら盛り上がり、見るものを圧倒する、どっしりとした縄文杉のすがたがあります。

### 雷に打たれるかのような

人間が生きていく上には、石のように行く手を阻むような出来事があります。あの事さえなければと感

じるようなことも起こります。そして時には、手足をもがれるような痛みや辛さを感じることもあります。身近な人との悲しい別れなど、それらはまるで雷に打たれるかのような出来事なのではないでしょうか。それが生きるということでもあります。

### コブにすればよい

しかし、そのような人生にあって、辛いことはなるべく避けて、逃げて、忘れ去っていく。あるいは、邪魔な石はどけていく、ということではない生き方があるということを、屋久島に生きる屋久杉は、私たちに教えているのではないのでしょうか。

行く手を阻む石はばのようなことがあれば、それを包み込めばよい。手足をもがれるような悲しく辛い出来事があれば、それをコブにすればよい。まるでそのように屋久杉が私たちに語っているかのようです。

それは、幾多の困難を積み重ねたからこそ、見事な姿に成長した屋久

杉の、無言のメッセージなのかもしれません。

### けしうしなわずして

親鸞聖人は次のように言われます。

「つみを、けしうしなわずして、善になすなり」(聖典一〇七一)  
南無阿弥陀仏の世界は、罪や悪というものを消し失わずして、善や徳へと変えなす世界なのだとい

幾多の苦難を体験し、時を大切に積み重ね、自分にかかせない味を持つ屋久杉のすがたに、消さず失わずの世界が重なって感じられます。

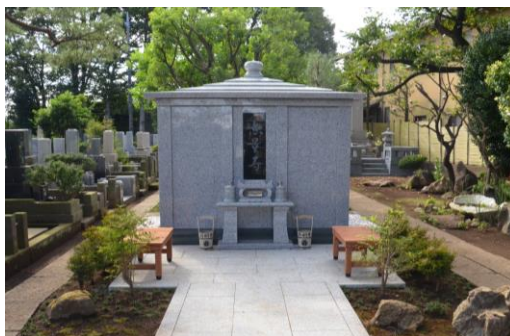




永代供養墓(納骨堂)

「無量寿」が完成  
むりょうじゅ

完成した永代供養墓(納骨堂)「無量寿」の全景



完成セレモニーでの瀧川鯉昇師匠の落語



去る9月20日、存明寺墓地に永代供養墓(納骨堂)「無量寿」(むりょうじゅ)が完成しました。当日は、法要・合同納骨式と共に、完成記念落語会が開催され、多くの方々が参詣されました。

落語会には、以前から交流のあった瀧川鯉昇師匠にお越しいただき、午前・午後の2座、落語を披露していただきました。

納骨堂にはすでに13件、約40人の方々が納骨されています。存明寺歴代の任職や坊守、そしていづれ母や私や妻もここに分骨します。お墓のシェアハウスⅡ浄土、そんな世界をイメージしています。

新しく存明寺の門徒になりたい方、〇〇家というお墓を持ちたくない方、終の棲家をお探しの方、どうぞお気軽にお問合せください。

納骨費用

	合祀	個別
門徒	8万円	15万円
新門徒	8万円	15万円
一般	12万円	23万円



◆グリーンケアのつどい

大切な方を亡くされた人々の集いです。テーマは、悲しみ・居場所生きるということ。毎回20名ほどの方々が参加されています。

次回は、12月19日(土) 午後2時 存明寺で開催します。

◆樹心の会 開催中です

月に一度の開法会で、存明寺の諸活動のベースとなる集まりです。テーマは、「親鸞聖人に人生を学ぶ」。勤行の後、お話を聞き、座談会をします。お話は、任職と門徒有志(11月は羽田節子さん)。

どうぞお気軽にご参加ください。

◆子ども食堂がオープン

各地に広がる子ども食堂に刺激を受け、「ぞんみょうじゅ子ども食堂」が開店しました。第一回目は9月30日開催、大人13名子ども12名、合計25名が訪問してくれました。メニューは、キーマカレーとフルーツ。この子ども食堂は、毎月一回、月末に開催します。

今や6人に1人といわれる「貧食」、ひとりだけで食事をする「孤食」が社会問題となっています。この動きはお寺が子どもの居場所になるための動きです。近隣の5名がスタッフに、地元の農協さんが食材を提供して下さっています。

お寺の写真館



↑グリーンケアのつどい ↓子ども食堂



## お寺のひろば 年内と新春

◆11月21日(土)午後2時  
樹心の会 会費:500円

親鸞聖人に人生を学ぶ

お話 羽田節子さん・酒井住職

内容 勤行・お話・座談・全体会

◆11月27日(金)〜29日(日)  
真宗本廟奉仕団(京都)

おとなのための修学旅行

希望者はお早めにお申し出を。

◆12月12日(土)午後2時

樹心の会 会費:500円

親鸞聖人に人生を学ぶ

学びを振り返って大感話大会

内容 勤行・お話・大感話大会

◆12月19日(土)午後2時

グリーンケアのつどい500円

大切な方を亡くした人々の集い

内容 勤行・法話・座談・音楽

◆16年1月1日(金) 10時

年の初めの修正会

内容 勤行・年頭法話・感話・乾杯

※奉仕団以外、会場は存明寺です。

## 2016年のお寺のひろば

1月1日(元旦) 10時	修正会
3月12日(土) 2時	樹心の会
3月20日(日) 11時 13時	春のお彼岸
3月26日(土) 2時	グリーンケア
4月9日(土) 2時	樹心の会
4月28日(木) 10時	おみがきの集い
5月3日(火) 12時	永代経法要
5月14日(土) 2時	樹心の会
6月11日(土) 2時	樹心の会
6月25日(土) 2時	グリーンケア
7月9日(土) 11時	新盆合同法要
7月13日(水) 11時 13時	おぼん法要
8月27日(土) 2時	青年の集い
9月10日(土) 2時	樹心の会
9月22日(木) 11時	秋のお彼岸
9月24日(土) 2時	グリーンケア
10月8日(土) 2時	樹心の会
10月29日(土) 10時	おみがきの集い
11月2日・3日	報恩講法要
11月26日(土) 2時	樹心の会
12月10日(土) 2時	樹心の会
12月17日(土) 2時	グリーンケア
ぞんみょうじこども会	毎月一回
ぞんみょうじこども食堂	毎月一回
子育てサロンいちごのへや	毎月一回



### 【あしがき】

▼秋の深まりを感じるようになりました。青々としていた木々の葉たちが、それぞれ違う色に染まっていきます。まるで、このページのカットのように。

▼春に芽吹き、若葉となり、夏の炎天下に日光をあび、やがて秋。その風に触れながら、やがて独自の色に変化していきます。

▼そんな葉たちに、人間の一生を重ねてみます。人は皆誰もが赤ちゃんとして誕生し、出会いと学びを繰り返して成長し、色彩よく縁熟し、やがていのちの世界へと帰っていきます。

▼深まりゆく秋のように、自らの人生もまた深まってほしいものです。時を大切に刻みながら、様々な体験を人生の宝として、その人にしか出せない色や味を表現して生きていくのです。

▼深まりゆく秋。  
同じようにあれ、我が人生。  
同じようにあれ、我が歩み。  
(住職)

東京都世田谷区北烏山4 -15-1  
真宗大谷派 存明寺  
住職 酒井 義一  
〒157-0061 TEL 03-3300-5057  
FAX 03-3300-5880  
E-mail : sakai@zonmyoji.jp